

会議録

会議の名称	平成 20 年度第 2 回下水道審議会
開催日時	平成 20 年 11 月 7 日（金曜） 14 時 00 分から 15 時 30 分まで
開催場所	防災センター 6 階 講座室 2
出席者	<p>【委員】</p> <p>伊村委員、河合委員、島田委員、末光委員、中島委員、野口委員</p> <p>【事務局】</p> <p>安藤下水道課長、堀口係長、新井主査、小林主任、二村主任</p>
議題	<p>1 西東京市公共下水道事業（雨水）評価について</p> <p>2 その他</p>
会議資料の名称	<p>資料 1：事業採択後 10 年を経た事業に係わる評価手法選定表</p> <p>資料 2：再評価チェックリスト</p> <p>資料 3：西東京市公共下水道事業(雨水)再評価費用効果分析結果</p> <p>資料 4：西東京市公共下水道事業(雨水)再評価</p> <p>第 1 回会議録(案)</p>
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
<p>会長</p> <p>ただいまから、第 2 回の下水道審議会を開催いたします。</p> <p>本日の議題は、「西東京市下水道事業(雨水)評価」についてということですが、事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>事務局</p> <p>本日配布の資料の確認をさせていただきます。</p> <p>本日の議題について、事務局に代わり業務を委託している財団法人新都市建設公社の高森より説明させていただきます。</p> <p>（パワーポイント使用により資料 1～資料 4 を説明）</p> <p>事務局</p> <p>ただ今、ご説明させていただきましたように、評価の決め手となる費用便益費はかなり高い</p>	

数字を示しており、西東京市にとって公共下水道雨水事業の整備が非常に有益だと思われます。

会長

何かご質問等ありますか。

野口委員

データをみますとB/Cの値が平均で5.5となっていますが、石神井左岸第五排水区と第九排水区ではB/Cの値が低く費用がかなりかかっていると思われませんが、そのあたりはどうでしょうか。

事務局

第五第九の両排水区は、面積が広大であるため浸水の防除効果は充分にあります。そのぶん費用がかかり効率は良くありません。逆に左岸第十排水区または左岸第八排水区では、浸水の防除効果が非常に優位となりますので便益が大きくなり、また面積も少ないため整備費用も少なく算出されます。B/Cの値にバラツキがでるのは、以上のことが考えられます。

会長

他に何かありますか。

中島委員

資料1の事業の進捗状況の評価のところ、雨水整備率が6.2%となっていますが、何を基準にその評価をされたのでしょうか。

事務局

今回の評価では、雨水の幹線管渠の整備率を示しております。

中島委員

そのことが分かるように修正したほうがいいと思うのですが。

会長

そうですね～分かり難いですね。

野口委員

6.2%は、370.18ヘクタールに対する雨水整備率の割合なのですか。

事務局

そうです。

野口委員

30年で1桁台の整備率ですか。幹線のみを全域整備しても、その次の段階(枝線)の整備を行わないと、評価の対象にはならないと思うのですが。

事務局

浸水を軽減しようという考えから、まずは雨水幹線を基準に認可区域内の整備をしていく考えに基づいております。

会長

6.2%の数字について具体的に書いていただくよう、訂正をお願いします。

島田委員

西東京市は対策量50ミリメートル/hをベースに計画されているようですが、東京都の計画は75ミリメートル/hとお聞きしました。その違いは为什么呢。

事務局

東京都の対策降雨強度も現在50ミリメートル/hと変わっておりません。三多摩地域では5年確率の50ミリメートル/h、都市部では3年確率の50ミリメートル/hを用いて基本計画を立てていると伺っております。(排水区の確認のため計画一般図を配布する)

野口委員

資料3を見ますと、結果的に浸水エリアは10年確率でも50年確率でもほとんど変わらないということですか。

事務局

確率降雨に関しては東京都も今後見直していくと思われま

会長

よろしいですか。

末光委員

水道事業であれば管網の長さが整備率になります。下水道も雨水整備率を数値的に表現するならば管網の長さで示したほうが分かり易いと思うのですが、下水道の場合はどうですか。また整備率100%とは、どのような状態を示すのですか。

事務局

下水道の整備率は、認可区域の面積に対して雨水を排水できる面積の割合となっておりますので、整備率100%は認可面積となります。従って下水道の場合は、管渠延長に対する割合の整備率という表現はしておりません。

会長

他に何かありますか。

伊村委員

資料4の浸水被害額の算定についてお伺いします。表3-1内において直接被害「自動車」の被害額だけ計上していないのはどうしてですか。自家用車は「家庭用品」の費用の中に含まれると理解してもいいのですか。

会長

評価の仕方にあいまいなところがあるようですね。どちらかに統一した方がいいと思います

事務局

自動車の被害額に関しては、家庭用品の評価額に含まれています。(国土交通省河川局河川計画課)別途計上を行おうとしても、対象地区の実際の車両台数を把握することは困難であり、本検討においては自動車の被害額については、計上を行いません。

会長

他に何かありますか。

島田委員

資料3の16ページについてお伺いします。10分の1整備なしと30分の1整備なしとの比較をした場合、床上が増え床下の数字が減っているのはどういうことですか。

事務局

浸水のエリアは変わりませんので、全体の合計も変わりません。溜まる量が増え浸水深が高むため、床下だったところが床上に繰り上がるため被害が拡大すると考えていただければいいかと思

島田委員

エリアは増えないということですか。

事務局

他の排水区ではエリアが当然広がる所もありますが、たまたま石神井左岸第二排水区においては凹地になっているため、浸水深が増すと被害が広がるということになります。

島田委員

雨量が増えて床下が減って、床上が増えるのは何か変な感じがします。

会長

床下でカウントしていたものを床上にカウントしたと考えればいいかと思います。

中島委員

資料3の13ページおよび15ページについてお伺いします。下水道未整備の欄の比較をしますと想定浸水エリア(50年確率)で一部着色が濃くなっているところがありますが、浸水の水深が嵩むという意味なのですか。

事務局

深くなるだけでたまたまこの第二排水区においては、他のエリアに溢れるのではなく、地盤高が低い局所的に雨水が溜まりやすい地域であると解釈して下さい。

会長

どなたか他にありますか。

中島委員

只今、資料3の50年確率想定浸水エリアについての説明がありましたが、逆の見方をすると100ミリメートル/h降っても、溢れるエリアはここだけということなのでしょうか。

事務局

確認する必要はあると思いますが、エリアの拡大はあるかもしれません。

中島委員

下水道が未整備の状態でも溢れないのは、何が起因して溢れないのですか。

100mミリメートル/hもの降雨で溢れないのは、どうしてですか。

事務局

石神井左岸第二排水区では、簡易シュミレーションを実行したところ着色以外の地域では溢れないこととなります。

中島委員

表面を流下して溜まらないということですか。

事務局

そのとおりです。

中島委員

下水道未整備の状態でも100ミリメートル/h降ってもほとんどの地域で浸水が起きないという表現はどうでしょうか。確かに地形的局所的に浸水が表れているのだと思いますが、下水道を整備しなくても大丈夫だという求めかたは審議会の趣旨からするとどうかと思いますので、工夫されたほうがいいかと思います。

会長

メッシュの切り方を工夫するののも一つの方法だと思います。

切り方を工夫すれば、多分改善されると思います。

野口委員

確かに1時間に100ミリメートルもの雨が降れば考えられなくはないのですが、石神井左岸第二排水区において雨水対策が必要なのは西武線の南側だけだと思います。ただ局所的な凹地、例えば橋場のところ等では排水能力がないため浸水が起きている所もあると思います。

事務局

その事に関しては、今回計画をしている石神井2号幹線により解消されると思います。また、その他の箇所においても幹線の整備により徐々に浸水区域の解消に繋がるものだと思います。

野口委員

他にひばりが丘中学校や保谷高校の近辺など、局所的に浸水するところがありますよね。

事務局

ハザードマップをご覧ください。これを見ると浸水区域は白子側流域と石神井川流域に集中していますが、特に石神井川の流域で広範囲に浸水が発生することがお分かりいただけるかと思えます。

野口委員

私が思うには、雨水管は全部整備されないと、汚水、雨水共それぞれ処理能力は限られていますので、処理能力を超えた雨水を河川へ流してしまうことになりかねませんね。

事務局

西東京市の処理方法は分流式なので、その点に関しては心配ないと思いますが、汚水管へ流入する不明水もありますので、それも併せて今後雨水の整備をしていく必要があると思います。

会長

分流式の処理を行っていますので、長期間様子を見ていかないとその問題はなかなか解消しづらいと思います。

島田委員

資料3 25ページについてお伺いします。B/Cの値は少数点以下第何位の四捨五入となっていますか。

事務局

小数点以下第3位四捨五入となっています。

島田委員

計算値の違うものがありますけど。

事務局

B（便益）とC（費用）の数値を整数で表示したため、そのような結果になっていると思われる。

島田委員

修正した方がいいかと思えますけど。

会長

数値を統一して表示して下さい。

中島委員

事業の優先順位はB/Cの値だけでは決定できるとは思いませんが、やはり値の高い順に整備を進めていくのが一つの考え方だと思いますが、どのようにお考えですか。

事務局

浸水被害が多発している部分と必ずしも合致しているとは限りませんので、現実的により被害が多く発生している所から考えています

中島委員

では、シミュレーションと実際の被害との整合性は確認されていますか。

事務局

おおむね合致していますが、浸水の原因が側溝の詰まり等の局所的なものについてはシミュレーションでは再現できません。あくまで降った雨が速やかに下水道管に流入してくるのを前提に計算をしていますので、整合のとれない場合もございます。

会長

手法によってかなり変わるということですね。

会長

よろしいでしょうか。

特にご意見がなければ、次回の第3回審議会で雨水事業に対する評価のまとめと答申を行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

他に事務局から何かありますか。

事務局

ご意見がないとのことですが、事務局といたしましては、第3回の審議会で雨水事業に対する評価のまとめと答申をいただくものとさせていただき、このことは委員様のご理解を深める期間が必要と思っているところでございます。よって本日以降にご質問等がある場合はお手数でも、電子メールやFAX等、保存可能な媒体を使用して事務局にお送りください。第3回の審議会で回答させていただきます。

会長

事務局から第3回審議会までの質問等について説明がありましたが、ご意見等ありますか。

事務局

事務局より第1回会議録の内容確認のお願いをする。

会長

事務局から説明がありました。第1回審議会会議録の確認について、何かご意見等ございますか。

では、次回までに会議録の内容確認をすることでよろしいでしょうか。

このほかに事務局から何かありますか。

事務局

最後になりますが、第3回審議会日程の確認をお願いしたいと思います。

第1回での審議会申し合わせによりまして、第3回は、11月21日金曜日午前10時から、防災センター6階講座室1での開催としたいと思います。いかがでしょうか。

会長

事務局から第3回審議会の開催日程について説明がありました。何か意見等ございますか。最後に、委員の皆様又は事務局から何かありますか。

事務局

事務局からは特にありません。

会長

それでは、本日予定の議事がすべて終了しましたので、これで第2回下水道審議会を閉会いたします。